

# ひだまり No.16

朝霞市立朝霞第一中学校 第一学年 学年通信 平成30年2月16日(金)発行

学年目標

自律・信頼・団結



## 職業体験で貴重な体験ができました



2月6日から8日までの3日間、各事業所において職業体験が行われました。この取り組みを行うにあたって、76カ所もの事業所にご協力いただきました。日々の業務でお忙しい中、電話の対応や事前訪問など快く対応していただきました。全員が、希望する事業所で体験できたわけではありませんが、与えられた場所で与えられた仕事に一生懸命に取り組み、有意義な体験になったようです。今回の経験が、将来の職業選択に繋がるだけでなく、日々の学校生活を見直し、向上させるきっかけになればと思っています。今後は、お礼状や新聞作りと取り組みが続いていきますので、最後までしっかりとやり遂げましょう。

### 生徒の感想より

先生たちはいつも笑顔で、子供たちはとても楽しそうにしていました。小さい子を預かって1日中お世話をするのはとても大変なことだと思いました。一人ひとりから目が離せないし、怪我をさせないようにしなくてはならないので、叱るときは叱る、ほめるときはほめるというのが大切だなと思いました。 1組 安井佑紀美

実際に体験して、とてもやりがいがあって良い仕事だなと思いました。初めて分かったことは、「ありがとう」ってとても嬉しくなる言葉だなと思いました。自分が成長したと思う点は、笑顔が少し増え、心配りが出来るようになったこと、人見知りが少しなくなったこと、前より緊張が解け最終日には普段と変わらないように接することができたことです。 2組 山下 七海

職業体験で体験して分かったことは、仕事の大変さとやりがいです。就職すると、この生活が毎日あるのだと思うと、とても大変だなと思いました。でも、仕事をしていて、お客さんに「ありがとう」と感謝の言葉をもらった時などは、とてもやりがいを感じました。この3日間で学んだことを、これからの生活と、就職したときにも生かしていきたいと思います。 3組 和智 優輝

家電屋さんは、接客だけが仕事だと思っていたけれど、棚掃除やカタログの差し替えなど、接客以外にもたくさんの仕事があって、とても大変だということが今回の体験を通して知ることができました。また、初日は「いらっしゃいませ」や「ありがとうございます」などが恥ずかしく、声が小さかったけれど、最終日には恥ずかしく言えて、自分が成長したのを実感できました。 4組 大津 勇樹

僕は、この3日間で今後役に立つことを2つ学びました。1つは、消火器の使い方です。何度か学

校で使い方を教えてもらったけど、全然わかりませんでした。しかし、消防署の人が優しく教えてくれて、使い方がよくわかりました。2つ目は応急手当です。テレビなどで何度か見たことがあります。やり方がわかりませんでした。胸骨圧迫のやり方、人工呼吸のやり方、AEDの使い方など優しく教えてくれてよくわかりました。もしも、家族や倒れてしまったら応急手当が出来るようにしたいです。

5組 大矢 健斗

学校は、先生以外に校務員さんや地域の方の協力によって成り立っていて、普段私たちが見えないところで本当にたくさんの方が動いてくれていることがわかりました。今回小学校で体験をさせていただいて、先生という職業は忙しくて本当に大変だなと思ったけど、仕事のひとつひとつがとてもやりがいのあるものだなと強く感じました。

6組 大川 千尋

3日間の職業体験を通して、働くことの尊さ、価値を身をもって感じる事が出来ました。1日目はなれなかった作業も、最終日には、しっかりできるようになった時の達成感は最高でした。バスシューズの前で、服にサイズチップをつけていると、お客様に「あのシューズ取ってもらえますか?」と言われました。突然のことで驚いたけど、脚立を取りに行き、商品を取って渡すと、「ありがとう!」と言われました。とても嬉しかったです。この言葉にお金以上の価値を感じました。働くということは、こういうことなんだなと思いました。また機会があれば体験したいです。

7組 佐藤 光亮

### 事業所アンケートより

- ・初日から大変積極的に働いてくれましたが、2日目、3日目と自ら進んで接客もしていただき、とても助かりました。仕事も楽しんでくれていたので、良かったです。私共とても楽しい三日間でした。
- ・初日は、緊張もあり、「いらっしゃいませ」の声がなかなか出ませんでした。慣れてくるにつれて、自分から声を出していけるようになりました。2人とも大人しいけれど、自分で判断してトレーの回収へ行ったり、ポテトのバックに戻ってきたりと積極的に動いていました。「ありがとうございます」の言える素直な子供たちでした。
- ・はじめは緊張からか黙々と仕事をしていましたが、後半だけだし私語が多く、緊張感がなくなっていました。
- ・男の子でも、興味を持ち子供たちと関わっている姿があり、一緒に関わりを持って良かったです。幼児の子供たちもお兄さんと遊べて嬉しそうにしていました。来てくれてありがとうございました。
- ・職業体験と銘打った場合、どこまでお願いしていいものか迷うことがあります。中学生の取り組み姿勢によって、こちらの対応(お願いできること)も変わってくるので、学校外の活動であることの認識をさせ、意識を持って取り組めるようにすると、この体験がより意味のあるものになると思います。
- ・すぐに仕事を覚えて、終了すると「次は何をやりますか?」と聞いてくれました。パートさんからの評判も良く、表情もだんだん緊張がとけて柔らかくなりました。
- ・だんだんと慣れてくると、子供たちとよく関わり、楽しむ姿が見られました。笑顔も増え、楽しんでいました。あいさつや、手伝いが終了した際に、生徒さんから自発的な声掛けがなく心配になる場面もありました。

・卒園児と再会できる事業は私たちにとっても楽しみな3日間でした。こども達を大切にしようという気持ちは見ていて伝わってきました。特に最終日に読み聞かせをしてほしいとリクエストしたときに、一生懸命に練習し合っていて、その姿に感動しました。来年もお待ちしています。

・生徒はもちろんですが、学校が希望していることに、どこまで対応できたかという心配もありますが、公民館利用者のみなさんは、中学生が受付窓口の仕事をしていたりすると、喜んで声をかけていました。2人の生徒さんは、とても真面目で礼儀正しく、初日から大きな声であいさつや返答をしていました。2人にとって良い社会体験となり、今後も頑張ってもらえればと思います。

## 🍩🍩🍩🍩🍩🍩 保護者アンケートより 🍩🍩🍩🍩🍩🍩

・受け入れてくれる事業所は大変だと思いますが、親からすると働く機会を与えていただき、有難く思います。先生や親から教えてもらうこととは別で、いろんな大人から社会的なことを学ぶということはすごく大事だと思います。今回の体験が少しでも自分にプラスになっていれば親としては嬉しいです。

・与えられた業務を「やりとげる」ということの楽しさを体験できたようです。足手まといでしかなかったでしょうが、ご指導いただいたスタッフの方々、並びに受け入れていただいた企業様に感謝いたします。

・職業体験はとてもよい活動だと思いました。幅広い業種の事業所の生徒の受け入れが増えたらもっといいと思います。

・始まる前は、不安もあったようですが、1日目から良い経験をさせていただいたようで、体験の内容を話してくれ、家ででのコミュニケーションのきっかけにもなりました。少しでも社会体験できたことで、多くを学んだと思いますので、生かしてもらいたいです。

・事前に、私の職場での職場体験に来る中学生の話をしました。(良いことも悪いことも) 班長をさせてもらえることに緊張しながら、とても楽しみにしている前日でした。3日間、スタッフしかできない体験をさせていただき、とても楽しいと話してくれました。働くということ、人との関わり、責任を持つことなど、本人の中でとても成長できたのではないかと感じています。

・事前に配られた資料に、細かいタイムスケジュールや、目標とゴールなど、体験を意欲的に取り組めるような冊子を作ってください、すごく有り難いと思いました。体験中も、パンフレットや経営環境の状況、顧客の対応の仕方などの冊子も作ってください、とても勉強になる体験になったのではないかと思います。

・このくらい働いて、どれくらいのお給料がいただけるかなど、金銭感覚を養い、お金の大切さについて学ぶ機会があるととても良いと思います。

・学校の外に出て、実際に職業体験をすることは、本人にとってよい経験でした。ただ、感染症が蔓延しやすい2月に行くことは不安がありました。受け入れ先に小さいお子様が多いので、自分の子が感染源になったらと思うと心配でした。学校行事等で時期をずらすことは難しいと思いますが、こちらからお願いする以上は配慮が必要だと思います。

